

#### 14. (Gno.34) アメリカ統一商事法典 (UCC) 研究

代表：伊藤 壽英

1998/02/13 (承認) 1998 年度 (開始)

##### 【研究の目的】

UCC のモデル法という役割は、国内で多様化する取引上の利害をどのように調整すべきかに関する有益な示唆を示すだけでなく、国際取引に関する法原則に関する調和・統一に向けての方法を示している。本研究は、UCC おける近時の動向と国際条約等に及ぼす影響について研究することを目的とする。

##### 【研究活動及び成果】

###### 総括

企業取引に関する UCC のアプローチをサーベイし、わが国の商行為法改正の議論との関係において、論点を整理したうえで、今後の研究課題を検討した。